



苦勞より誇らしさ

広報委員会は12月11日（火）午後、清教学園中・高等学校校長室で上垣智美さん、是枝空さん、濱口沙穂さんと森野校長に子どもさわやか賞受賞の感想を聞きました。
—今回、子どもさわやか賞の受賞おめでとうございます。最初に、高校でヘアードネーションをやると思ったきっかけは何ですか？

濱口さん：たまたま高校の先生が私の長い髪の毛を褒めてくださったことです。元インターアクトに入っていて、新しいボランティアが見つかったと思いました。

上垣さん：私は小学生の時に一度ヘアードネーションを経験しています。自分の髪の毛が他人のためになるのはすてきなことだと思っていました。

是枝さん：上垣さんと濱口さんが活動しているのを知って、参加しようと思いました。

—ヘアードネーションをする時の苦勞は何ですか？

是枝さん：苦勞はないですが、髪の毛を伸ばす必要があってケアが大変なんです。洗面所や浴室の掃除が大変です。

上垣さん：他人から言われてではなく自分の意志でやっているの、苦勞は感じていません。髪の毛がギシギシにならないようにケアするのが大変です。

濱口さん：私も毎日シャンプーとリンスで髪の毛を大切にしています。この髪の毛を必要としてくれる人がたくさんいらっしゃると思いますので。

—今回の受賞で、他の市町村でもヘアードネーションの知名度が上がるとういすね。

上垣さん：目に見える活動ではないですが、賛同者がもっと増えていけばいいなあと思います。

濱口さん：自分のカットした髪の毛が他人の役に立っているの、この活動をやってよかったと思います。

是枝さん：自分の髪の毛でできたウィッグを着けて心が和む人がいると思うとうれしいです。少しだけ自分のことを誇らしく思います。

—3人の活動を見て、森野校長はどのように思われますか？

森野校長：素直にうれしいですね。私は生徒たちの自主性を伸ばしてもらいたいと思っています。と同時に、他人に対するイマジネーションを持った生徒が育てほしいと思っています。今回の3人の表彰が大きなステップになればと願っています。

—みなさん、学期末のお忙しい時にご協力ありがとうございました。

「こんにちは赤ちゃん事業」の研修

2月19日（火）、子ども・子育て総合センターあいくの子ども交流ホールで、「子どもの発達と現在の子育て状況」について、講師のNPO法人ラヴィータ研究所理事長米田和子氏の講演がありました。参加者は主任児童委員9人と児童部会員34人でした。こんにちは赤ちゃん事業とは、生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を保健師と助産師が訪問し、育児相談などを行うものです。

米田氏は「言葉の発達は保護者（親）の関心事です。子どもをよくしたいのは親の願いですが、みんなの顔が違うように、考え方、感じ方、記憶の仕方、勉強の仕方も違うのが当たり前です。子どもの気になる行動があれば、1歳半検診で視線、言葉、模倣動きなどを検査する必要があります」と話しました。さらに、「保護者は子どもと一生の関わりがあるので保護者の支援が重要です。子どもは支援者（学校の先生等）と保護者との両輪の上を走る電車に乗っている」と例えて説明しました。



車イスと闘志がぶつかる親善バスケットボール試合

2月15日（金）、障がい部会員35人、社協職員2人の合計37人は見学研修会で「丸善インテックアリーナ大阪」と「大阪市舞洲障がい者スポーツセンター」を訪問しました。「2020東京パラリンピック大会」を控え、障がいのある人がスポーツに取り組む姿を理解する目的で「2019国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会」日本対オーストラリアを観戦しました。前列で観戦していた大阪市内の小学生は、前日親善交流があったオーストラリアチームを大きな声で応援していました。両チームに点が入るたび大歓声上がり、アリーナは興奮と熱気に包まれ56対43で日本が勝利しました。



観戦後、障がい者スポーツセンター「アミティ舞洲」に行き、障がい者にやさしく設備の整った施設を見学しました。



子どもを理解する力

平成30年度第2回河南ブロック主任児童委員研修が2月21日（木）、河南町立総合体育館ぷくぷくドーム内ぷくホールで開催され、千田会長と主任児童委員10人が参加しました。

来賓挨拶、各市町村民児協会長と主催者紹介の後、堀内祐子氏による「子どもを理解する力～発達障がいの子とハッピーに暮らすヒント～」というテーマの講演がありました。発達障がいのある4人の子どもの母親である堀内氏。講演の中で、子育ての戸惑いや不安で押しつぶされそうな毎日を過ごしたこと、様々な局面を乗り越えるうちに子どもたち独自の世界観に気づき心が通い合うようになったことをエピソードを交えながら話しました。また、堀内氏は「発達障がいへの認知度は徐々に高まっていますが、育て方や対応の仕方など、具体的な方法は提示されていないのが現状。私が4人の子育ての中で培った具体的な工夫やスキル、大学で学んだ知識、何より発達障がいの子もたちが持つ素晴らしい特性を伝えていきたい」とも述べていました。



3月～4月の予定

日程	時間など	行事名	開催場所	対象:出席者
3月20日	水 10:00～12:00	心配ごと相談	社協別館1階	辻野・吉田
4月10日	水 10:00～12:00	心配ごと相談	社協別館1階	久成・植中
4月12日	金 13:30～15:15	会長連絡会	大阪社会福祉指導センター 5Fホール	千田
4月12日	金 15:30～	府民児連総会	大阪社会福祉指導センター 5Fホール	千田
4月14日	日 10:30～15:00	スリーハートの丘「春の催し」ボランティア	スリーハートの丘	長野地区・高向地区
4月17日	水 10:00～12:00	主任児童委員連絡会役員会	大阪社会福祉指導センター 1F民連室	山本
4月17日	水 14:00～16:00	地区委員長会議	社協別館2階会議室	地区委員長、部会長、委員長
4月18日	木 10:30～	主任児童委員部会みんな集まれ	あいつく	主任児童委員
4月19日	金 10:00～16:30	川上地区・天見地区合同研修会(バリアフリー展)	インテックス大阪	川上地区天見地区
4月21日	日 10:30～14:00	クローバー祭り ボランティア	クローバーの丘	長野・高向地区以外
4月23日	火 10:00～12:00	大阪府民児協連 広報部会	大阪社会福祉指導センター 1F民連室	千田
4月23日	火 19:00～	社明運動第一回推進委員会		濱田、市傷、久保
4月24日	水 10:00～12:00	心配ごと相談	社協別館1階	久成、横山